

# 都市再生整備計画(第5回変更)

おおのちょうじょうりちく  
大野町条里地区

ぎふけん おおのちょう  
岐阜県 大野町

平成26年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	おおのちやう 大野町	地区名	おおのちやうじやうち 大野町条里地区	面積	670	ha
-------	-----	------	---------------	-----	-----------------------	----	-----	----

計画期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標

- 大野町ならではの地域文化を活かしたまちづくり  
 目標1: 地域間交流の場やスポーツ振興の場を整備し、あらゆる生活の場で自然とのふれあいや、人、文化、情報が交流しあうゆとりあるまちづくり  
 目標2: 歴史的遺産や伝統を保全し、後世や来訪者などの町内外に文化を伝えていくまちづくり  
 目標3: 観光資源となる魅力の活用や関連道路や歩道などを整備し、人が訪れやすくなる快適な環境づくり

目

平成21年 3月  
 まちづくりの経緯及び現況  
 ・大野町の人口は、平成7年度～平成17年度の国勢調査より、10年間で約7.7%増加している。交通利便性の良さや、地価が安価であることから町内への転入者も多く、人口推計によると今後も増加傾向であると想定される。  
 ・町の中心を国道303号が東西に走り、主要幹線道路岐阜県南大野線を始めとする幹線道路と支線道路による交通網が整備され、町内はもとより近隣の市町への移動は至便であり、経済都市である岐阜市、大垣市へは20～30分で到達することが可能なため、岐阜市、大垣市、あるいは名古屋市への通勤・通学者が多い。  
 ・大野町では、東海環状自動車道の建設に伴い、町南部に(仮称)大野・神戸ICの整備が進められている。  
 ・名鉄揖斐線が平成17年に全線廃止となったことを受け、町内への鉄道による乗り入れがなくなった。現在では岐阜バス、名阪近鉄バスが通っている。  
 ・名鉄揖斐線の廃線に伴い、バス停「町役場」を「大野バスセンター」として整備している。「大野バスセンター」において、大野町のPRを行う場所として、「親交ステーション」を整備している。  
 ・(仮称)大野・神戸IC建設計画や大野バスセンターの設置など交通利便性の向上が図られ、これまで以上に来町者が増えることが期待できる。  
 ・公民館単位の活動が活発であり、町民主体のまちづくりを進めるにあたっての基盤があると考えられる。  
 ・平成18年度より「大野町条里・史跡調査委員会」によって条里遺構に関する調査を実施しており、現在も継続中である。  
 ・町役場では、産業建設部企業振興課を設置し、企業立地や企業誘致宣伝活動を行うとともに、企業誘致用土地確保などの事業を展開している。  
 ・大野町には歴史的建造物や絵画など多くの文化財が残っており、歴史・文化は大きな魅力のひとつとなっている。史跡などの他、豊富な自然を背景に、天然記念物も多く点在している。  
 ・大野町北部には約1haの地域に、前方後円墳6基、円墳3基の計9基が密集して築造されている県内でも稀な分布を見せる野古墳群がある。  
 ・野古墳群は、昭和32年7月10日に一括して国の史跡に指定され、環境整備事業に伴う事前の範囲確認調査が昭和57年より随時実施されてきている。  
 ・平成24年のぎふ清流国体では、大野町運動公園レインボースタジアムにて、高等学校硬式野球競技の開催が決定されている。

課題

- ・条里制に対する認知度が低く、条里を身近に感じるが少ないため、条里跡について住民をはじめ、多くの人に知ってもらおう。
- ・条里が視覚的に伝えられないため、日頃の生活において条里を確認できる仕掛けをつくる。
- ・条里を軸とした大野町の魅力の創出や町内における歴史の伝承のために、大野町らしい豊かな自然や田園風景を活かす。
- ・条里と史跡との連携が必要であり、大野町の歴史・文化を伝えるため、条里を中心とした周辺史跡とのネットワークを図る。
- ・史跡野古墳群の観光拠点としての整備がされておらず、歴史文化を活かしたまちづくりが急務である。
- ・大野町運動公園レインボースタジアムは収容能力や整備水準が低いため、ぎふ清流国体の運営に影響を及ぼすことが懸念されている。

将来ビジョン(中長期)

- ・平成17年に第5次総合計画を策定し、将来像として“緑豊かな自然の中で、互いの思いやりと心豊かさを実感でき、安心して快適に暮らすことのできる”ことと、住民一人ひとりがふるさとの歴史と文化に触れながら、受け継ぎ育むとともにそれぞれの役割と責任を自覚し、まちづくりに積極的に参加することのできる将来夢のある自立したまちづくりをめざす”としている。
- ・東海環状自動車道の建設に伴い、町南部に(仮称)大野・神戸ICの整備が進められている。
- ・インターチェンジと一体化した市街地整備によって魅力ある物流拠点及び国道303号を中心とした商業地区の整備など活気あるまちづくりを進めていく。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値	目標値	
					基準年度	目標年度	
1.条里制についての認知度	%	条里制の認知度をアンケートにより算出	条里制について学習ができる広場や情報板、ガイドマップを整備し、条里制の認知度を上げる。	14	20	平成19年度	平成25年度
2.観光拠点施設の利用者数	人/年	町内の観光拠点施設の年間利用者数	道路等の交通施設や観光施設、ガイドマップ等を整備し、魅力ある大野町をアピールすることで町を訪れる観光拠点施設の利用者数を増加させる。	430,000	460,000	平成19年度	平成25年度
3.大野町運動公園レインボースタジアムの年間利用者数	人/年	大野町運動公園レインボースタジアムの年間利用者数(国体開催時を除く)	大野町運動公園レインボースタジアムを整備し、スタジアムの利便性・快適性の向上や、収容能力の増強を図り入場者数を増加させる。スポーツ振興や地域間交流の場としての認知度を高め、利用者数を増加させる。	14,000	15,000	平成19年度	平成25年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1(地域交流の場やスポーツ振興の場を確保し、人・文化・情報が交流しあうまちづくり)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドマップや条里解説版、モニュメントを設置することで、人・文化・情報が行き交う、観光のメインストリートとする。</li> <li>・公園施設や旧駅舎を利用した資料館・学習室を整備することにより、人と人との交流の場や学習の場を創出する。</li> <li>・運動公園や河川公園等を整備し、地域交流やスポーツ振興の場の拡充を図る。</li> </ul>	<p>【基幹事業】 公園(根尾川リバーサイドパーク) 公園(条里公園) 公園(揖斐二度ザクラ公園) 公園(旧黒野駅ふれあい広場) 地域生活基盤施設(情報板) 高質空間形成施設(緑化施設等) 既存建造物活用事業(観光交流センター) 【提案事業】 地域創造支援事業(大野町運動公園) 地域創造支援事業(散策ツアー等の開催)</p>
<p><b>整備方針2(伝統を保全し、文化を伝えていくまちづくり)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧駅舎を利用した資料館・学習室を整備することにより、条里に関する歴史に資源を保管・展示し、子供から大人まで条里に触れあうことのできる学習の場を提供する。</li> <li>・条里公園を整備し、学習会などの開催の場とし、また条里の大きさを体感しながら条里制について学習ができる場を提供する。</li> </ul>	<p>【基幹事業】 公園(根尾川リバーサイドパーク) 公園(条里公園) 公園(揖斐二度ザクラ公園) 公園(旧黒野駅ふれあい広場) 地域生活基盤施設(情報板) 既存建造物活用事業(観光交流センター) 【提案事業】 地域創造支援事業(散策ツアー等の開催)</p>
<p><b>整備方針3(観光資源を活用した、人が訪れやすくする環境づくり)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光の拠点となる道路を歩道拡幅整備し、ひとが来やすくする快適な環境づくりを行う。</li> <li>・条里、史跡周辺に駐車場、駐輪場を整備することで、車利用者に立ち寄ってもらうことのできる魅力ある駐車場を演出する。</li> <li>・町民と来訪者との交流の場として、駐車場を利用した歴史に関するイベントや定期市を開催する。</li> <li>・自家用車やバスなどによる来訪者に自転車の貸与を行い、町内をゆっくりと巡ってもらうことができる環境をつくる。</li> <li>・大野町らしい豊かな自然や田園風景を背景に、条里をはじめとする史跡を巡ることのできる散策ルートを提案する。</li> <li>・町内史跡の場所や概要をとりまとめ、楽しく散策ができるためのガイドマップの作成を行う。</li> <li>・レクリエーション施設を整備することにより、町民と来訪者との交流の場とする。</li> </ul>	<p>【基幹事業】 道路(黒野麻生1号線) 公園(条里公園) 公園(揖斐二度ザクラ公園) 公園(旧黒野駅ふれあい広場) 地域生活基盤施設(情報板) 高質空間形成施設(緑化施設等) 既存建造物活用事業(観光交流センター) 【提案事業】 地域創造支援事業(大野町運動公園) 地域創造支援事業(散策ツアー等の開催)</p>
<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事業終了後の継続的なまちづくり活動</li> <li>・各種団体、個人とのネットワークを構築し、まちづくり活動のリーダーを育てる人材育成のためのまちづくり講座を開催する。</li> <li>・子どもたちが気軽に活動に参加できる仕掛けづくりを行う。</li> <li>・大野町の歴史や文化のPR活動を行う。</li> <li>・散策ルートを活用した散策ツアー等を開催する。</li> </ul>	



# 大野町条里地区(岐阜県大野町) 整備方針概要図

目標	大野町ならではの地域文化を活かしたまちづくり	代表的な指標	1.条里制についての認知度 ( % )	14 (19年度)	→	20 (25年度)
			2.観光拠点施設の利用者数 (人/年)	430,000 (19年度)	→	460,000 (25年度)
			3.大野町運動公園レインボースタジアムの年間利用者数 (人/年)	14,000 (19年度)	→	15,000 (25年度)

